

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート概要(令和3年度事業分)

施設名 山梨県立中小企業人材開発センター

所管課 産業労働部 産業人材育成課

指定管理者 山梨県職業能力開発協会

1 指定管理者の推移

導入年度	平成23年度					
指定管理者名	出資法人	指定期間				委託料総額 (単位:円)
山梨県職業能力開発協会		H23.4.1	～	H24.3.31	1年	16,594,000
山梨県職業能力開発協会		H24.4.1	～	H29.3.31	5年	67,436,000
山梨県職業能力開発協会		H29.4.1	～	R3.3.31	4年	56,165,208
山梨県職業能力開発協会		R3.4.1	～	R7.3.31	4年	52,996,424

2 施設の概要

所在地	甲府市大津町2130-2
設置年月日	平成23年4月1日
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立中小企業人材開発センター設置及び管理条例
設置目的	労働者の職業能力の開発及び向上を促進するため、中小企業の事業主等の行う職業訓練を支援するとともに、技能検定試験を実施するための施設として、中小企業人材開発センターを設置する。
主な業務の内容	(1)利用の承認に関する業務 (2)施設及び設備器具の管理に関する業務
主な施設内容 (定員等)	<ul style="list-style-type: none"> ○敷地面積 3,927.77㎡ ○建築延面積 ・主たる建物 1,791.87㎡ ・附属建物 490.97㎡ ○建物の構造 ・主たる建物 鉄筋コンクリート造3階建 ・附属建物:鉄骨造平屋建 ○施設の内容 ・会議室(81㎡、24人) ・第1～6研修室(54㎡、20～30人) ・第7研修室(74㎡、30～45人) ・実習室(81㎡、20人) ・視聴覚室兼大研修室(192㎡、96～144人) ・多目的実習場(全面400㎡、半面200㎡) ・敷地内駐車場(44台)
備考 (改築工事等の状況、一括管理施設等)	H30.3.23 エアコン設置工事(7,128千円)

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート概要(令和3年度事業分)

3 指定管理業務に係る収支状況

(単位:円)

年度 項目	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	備考
収入合計	22,581,800	23,123,892	23,558,709	22,138,958	21,701,495	
支出合計	20,834,507	22,720,578	22,941,468	22,354,442	21,182,198	
収支差額	1,747,293	403,314	617,241	△ 215,484	519,297	

4 利用状況、利用者満足度の状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	備考
利用実績	50,826人	52,985人	52,751人	17,344人	24,504人	利用者数
利用者満足度	◎	◎	◎	◎	◎	「満足」又は「どちらかといえば満足」の合計 ◎:80%以上 ○:60%以上80%未満 △:60%未満

5 運営目標の達成状況(令和3年度)

労働者の職業能力開発及び向上を促進するために、職業訓練や技能検定試験を実施する施設であり、より多くの企業等に利用してもらえよう、利用者数増加及び稼働率向上を運営目標としている。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の一環として、各研修室の利用人数の定員を制限したため、大規模な研修室の稼働は増加し、小規模な研修室の稼働は減少した。

そのため、利用料金収入は収支計画より増加し、稼働率も38.73%と前年度の実績値は上回ったが、利用者数は目標値に届かなかった。

また、施設全体の利用者満足度は「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせると100%であった。

施設利用者数:運営目標34,800人 実績値24,504人
稼働率 :前年度実績34.3% 実績値38.73%

6 施設所管課による総合的な評価及び指導事項(令和3年度)

施設管理、運営業務、自主事業について、条例、協定及び業務計画に基づき、適正に履行された。

新型コロナウイルスの感染拡大時には一時的に新規予約受付停止等の制限をしたこともあり、利用者数は目標値に届かなかったものの、前年度からは回復している。また、利用者の満足度は高く、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策も含めて、利用者の立場を考えた運営が行われていると判断できる。

引き続きサービスの維持に努め、新規の利用者の獲得やリピーターの増加に取り組んで、利用率の向上を図ること。

7 施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況(令和3年度)

新型コロナウイルスの感染状況を注視しながらの難しい管理運営が続く中、感染防止対策を講じながら、利用者の要望に可能な限り応え、サービス向上を図った。また、経年劣化した施設の修繕にも取り組み、安全や利便性を考慮した管理運営を行った。

さらなる利用者の増加と稼働率の向上を図るため、環境整備や自主事業の見直し等に取り組んでいる。

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和3年度事業分)

施設名 山梨県立中小企業人材開発センター

所管課 産業労働部 産業人材育成課

指定管理者 山梨県職業能力開発協会

1 利用状況

(単位:人、%)

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
利用者数	認定職業訓練	1,588	1,199	985	301	526
	技能検定	6,138	7,090	7,582	3,186	6,201
	研修・講習	29,067	34,390	34,455	10,532	13,931
	会議・その他	14,033	10,306	9,729	3,325	3,846
	利用者数合計	50,826	52,985	52,751	17,344	24,504
	目標値	52,000	52,500	53,000	53,500	34,800
	実績/目標割合	97.7%	100.9%	99.5%	32.4%	70.4%
目標値の設定方法	平成28年度～令和元年度の利用実績の平均52,250人を令和3年度の目標とした。また、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を講じた場合、施設全体の利用者数の上限が2/3程度となることから、感染防止対策を講じた場合の目標値を34,800名とし、両方を目標値と設定し、今後の動向に注視し決定する。 なお、以降の目標値については、「通常時」を前年度目標値の450名増、「感染防止対策を講じた場合」を前年度目標値の300名増として設定。					
利用率	稼働率等(利用率)	39.9%	43.4%	48.6%	34.3%	38.7%
	稼働率等(利用率)の算定方法	利用室数/利用可能室数				

2 類似施設・近隣施設

名称・施設内容等	山梨県立産業展示交流館アイメッセ山梨
----------	--------------------

3 補修工事等の状況(令和3年度)

(単位:円)

県	変電設備修繕工事	506,000
管	ケヤキ剪定	199,650
管	屋外照明ランプ交換	71,500
管	センター案内看板撤去	33,000
管	外2件	63,090

修繕等の負担区分(基本協定書): 1件20万円未満の修繕等は指定管理者が実施

*ただし、上記にかかわらず、県の承認により、指定管理者が修繕等を実施することができる。

4 自動販売機設置状況等(令和3年度)

(単位:円)

台数	選定方法	収入割合	収入額	仕入(支出)額
1	随意契約	売り上げ額の10%	50,939	
1	随意契約	1本 8.148円(サービス商品除く)	20,728	
1	随意契約	0%	0	

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和3年度事業分)

7 評価結果

項目	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	<p>施設の清掃作業、消毒作業を頻繁に行い、清潔な施設を提供することで、利用者の高い満足度を維持するように務めた。</p> <p>毎日、朝夕職員による施設の目視点検、各種設備の計画に基づく専門業者による点検を行い、安全な施設、設備を提供した。</p> <p>非常時に各職員が円滑な対応ができるよう災害発生時の職員配置などの訓練を行い確認した。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策に細心の注意を払い運営した。</p>	<p>事業計画の施設の維持に関する業務に基づき、適正に実施されている。引き続き、関係法令を遵守し、利用者にとって安全で快適な施設管理に努めること。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策については、令和3年度に、やまなしグリーン・ゾーン認証施設に移行となったが、移行後もグリーン・ゾーン認証施設の基準に従い、適正な施設管理が行われている。今後も引き続き、感染防止対策を徹底して行うこと。</p>
運営業務	<p>条例に基づいた管理運営を行った。</p> <p>運営方針である、労働者を対象とした職業訓練を支援する施設、技能検定を実施するための施設として不備がないよう業務を執行した。</p>	<p>条例及び利用規程に基づき、適正に運営されている。利用者の満足度も「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせると概ね100%であり、利用者の立場を考えた運営が行われていると判断できる。</p>
利用状況	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、各研修室の利用人数の定員を制限したことから、大規模な研修室の稼働は増加し、小規模な研修室の稼働は減少した。</p> <p>利用者数は昨年と比較し増加したが、目標値には届かなかった。</p>	<p>利用者数は目標値に届かなかったものの、前年度からは回復している。また、感染症対策にも徹底して取り組み、利用者の満足度は非常に高く評価できる。</p> <p>コロナ禍により大きく変化している利用者のニーズに沿った自主事業等を検討し、利用者の増加及び稼働率の向上に取り組むこと。</p>
収支状況	<p>収入は、高額な大規模研修室の利用が増加したため、収支計画を上回った。</p> <p>支出に関しては、電気調達一括入札の参加に伴う削減分の、令和2年度分を県へ返還したものの、経費の削減に取り組む、収支計画を下回った。</p>	<p>安心して利用できる施設の管理運営と利用者への丁寧な対応により、小規模研修室に比べ利用料金が高額であるにもかかわらず、大規模研修室の稼働が増加し、計画を上回る程の収入に繋がったことは高く評価できる。</p> <p>支出については、県の電気調達一括入札に参加するなど、削減に努めているが、施設の魅力を維持しながら、さらなる経費の削減等に取り組むこと。</p>
自主事業	<p>労働者を対象に階層別訓練やOA機器を使用したパソコン講座など、10講座(159名)の実施、また、幅広い利用者を獲得するため、ふすまのほりかえ教室や、小学生を対象とした親子ものづくり教室など(計5講座60名)を実施し、幅広い年齢層の利用者を獲得した。</p>	<p>自主事業は計画書に基づき、適正に実施されている。今後も新型コロナウイルス感染症による社会情勢などにより大きく変化する利用者ニーズを把握し、効果的な事業を計画して施設の利用率の向上に努めること。</p>
利用者満足度	<p>すべての項目で、高い評価を受けているが、施設の温度調整に関しては、常時換気を行う必要があるため、冷暖房の効きが悪くご意見いただくことが多くあった。</p> <p>職員による環境美化などの出来ることを行い、満足度を上げていく。</p>	<p>利用者満足度は高く、感染防止対策を含め、利用者の立場に立った運営がされていると評価できる。新たな利用者の確保とリピーターの増加を図るため、より一層のサービスの向上と事業の見直し等に努めること。</p>

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和3年度事業分)

8 施設所管課による定期評価結果

施策推進 業務の内容	評価	改善内容
技能検定試験による施設利用者の確保	<p>技能検定の受検促進を図るため、技能検定による施設利用者数を評価指標とし、目標値を5,134人に設定。 各学校や企業への通知やHPで周知し、実績が6,201人となり、実績が目標を上回る結果となった。</p>	<p>県内の技能士会とも連携し、会員企業等に技能検定受検のメリット等を伝え、引き続き受検者の確保を図ること。</p>
職業訓練や研修・講習による施設利用者の確保	<p>職業能力の開発・向上の促進を図るため、職業訓練や企業従業員向けの研修・講習による施設利用者数を評価指標とし、目標値を27,406人に設定。 新型コロナウイルス感染症の影響により、企業が研修等の実施を控えたことや、収容定員を制限したため、実績は14,457人と目標を下回ったものの、ネットワーク環境の整備により、令和3年度から当センターを配信の拠点としたオンライン形式の研修を、企業等の主催により実施しており、自宅等で研修を受講した人を含めると、その実績は上記の人数より増加する。 なお、施設を利用した企業の満足度は高く、コロナ禍において難しい運営状況の中でも、利用者の立場に立った運営がされていると評価できる。</p>	<p>アフターコロナを見据えた、デジタル人材の育成をはじめ、時代に沿った人材育成の重要性を会員企業に周知するとともに、企業主催の研修等について、相談や提案をすることにより職業能力開発の促進を図ること。 また、令和3年度から実施可能となったオンライン研修の受講生を、令和4年度から当該評価に加算することとし、コロナ禍であっても、時代に合った方法で職業能力の開発及び向上を促進していくこと。</p>

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和3年度事業分)

9 管理体制(組織図)

令和3年4月1日現在

